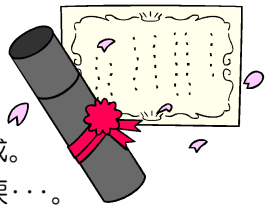
教育かわら版
こんにちは教育委員会です
ふたたび

No.１８３
２０２３（令和５）年３月２５日発行
今金町教育委員会の会
文責：教育長　中山秀悦



卒業　異動　別れ　希望の季節

やっぱり卒業式は良いものです。
凛とした空気。これまでやって来たことの集大成。
頑張ってきたから、やり抜いたからこそ流れる涙･･･。

慣れ親しんだ学び舎、環境から離れていくことは寂しく、少し勇気のいることだけれど、この先には、今までとはまた違う出会いや世界が待っているかもしれない。そんな楽しみがある希望の季節です。

コロナ下という「人と関わらないでも済む風潮の時代」を抜け出そうとしている今。お互いの良いところを見つけ，Respect し合い、たくさんコミュニケーションをとって新たな日々を過ごしていってほしい。そう思います。

そしてご退職、ご異動なさる先生たち。

本当にお世話になりました。同じくコロナ下の状況の中で、親しく懇親をする機会はほぼなかったかもしれませんが、先生方の思い、教えを学校の姿、子どもの姿、町事業での成果で残してくださいました。ありがとうございました。どうぞお元気でお過ごしください。



この時期、このフレーズが心に響くのです。

So many things　I would have done.　　{Both　sides,　Now}

それは決して後悔じゃなく、この先の希望で･･･。

感動　Respect

日本中を熱狂させたサッカー W 杯、野球 WBC が終わりました。

勝利という結果だけでなく、監督、選手、サポーター、日本人の礼儀正しさや規律性、相手を Respect するその姿勢が高く評価されたり話題となったりしたこの一年だったと思います。

私、実は校長時代の経営方針に「Respect」を入れていました。令和２年度の教育行政執行方針まで･･･。大事なことだし、ただ、尊敬しなさいみたいな感覚は良しとしなかったので、好きで使っていたのです。相手を大事にすること。お世話になっているということに感謝しながら、会場や施設を使わせていただくこと。普通のことなのだと思います。



かっこよかった。感動したのが WBC 決勝前の大谷翔平選手の言葉です。

『今日だけは憧れは捨てましょう。ファーストにゴールドシュミットがいたり、センター見たらトラウトがいるし、外野にムーキーベッツがいたりとか、野球やってれば誰しもが聞いたことがある選手がいると思うんですけど、憧れてしまったら超えられないんで、今日一日だけは･･･.』

これこそが最高の Respect 。大谷選手が言うからこそ価値がある、納得できる言葉だったのですよね。本当に感動しました。ありがとうございました。

自分もまた頑張ろうっていう気になった。多くの皆さんの気持ちなんじゃないか、と。感謝。